名瀬建友会安全祈願祭

繁忙期こそひきしめを

名瀬建友会（前田国光会長）は9日、名瀬市の高千穂神社で16年安全祈願祭を開き、今年1年間の安全と繁栄を祈った。

祈願祭には会員ら約50人が出席。神事で祝詞奏上、清め祓いの後、前田会長、夏迫昭人名瀬労働基準監督署長が神前に玉串を捧げ、今年1年の無事故無災害と各企業の発展を祈念した。

このあと、場所を奄美サンプラザホテルに移して開いた懇談会の中で前田会長は、「昨年の管内における休業4日以上の労働災害は一昨年に比べ大幅に減少した。これまで安全意識の高揚、指導に会員一同努めてきた結果だと思う。しかし、これに安どすることなくこれから年度末で忙しい時期こそ、なお一層の安全に対するしっかりとした取り組みをお願いしたい」と挨拶。

また、来賓祝辞では平田隆義名瀬市長が「昨年は復帰50周年の節目の年だった。これまで皆さんが歩んで来られた社会資本整備の足跡を振り返る上で意義のある年となったのではないか。業界の方々には今後も厳しい状況が続くと思われるが、こういう時こそ安全な施工を目指し、しっかりとした企業計画を立てて乗り切ってほしい」と激励した。夏迫名瀬労基署長の祝辞、名瀬市議会の平敬司議長による乾杯、名瀬市の栄一雄建設部長による万歳三唱の後、会員らは和やかに杯を交わしお互いの安全と健闘を誓い合っていた。

記念写真に納まる会員一同＝名瀬市の高千穂神社で

円滑な通行確保で提言

国道225号通行規制検討委

九州地方整備局鹿児島国道事務所は9日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで第3回となる一般国道225号（川辺地区）通行規制区間検討委員会（第3回）を開き、見識者や県、市の関係者らが意見を交わした。

当検討会は国道225号川辺地区の異常気象時における通行規制区間の見直し検討を行い、道路交通の安全で円滑な通行の確保及び地域住民の生活環境の向上を図ることを目的に、平成15年度より当委員会を発足させ今回で3回目を迎える。

主催者を代表して岡本博同整備局道路部長（代理－中島一見道路情報管理官）が挨拶。続いて議事に入り、事務局からの資料をもとに防災対策工事の現状や現況地山の防災面からの安全状況等、当該通行規制区間（延長6・9㎞の規制区間のうち、川辺町側区間3・1[illegible]規制解除の方針について検討され、川辺町側区間は通行規制解除に必要な防災対策は十分施工されており、異常気象時における事前通行規制区間の指定を解除することが提言された。また、鹿児島市側区間3・8㌔は防災対策が未完了なため規制解除は適切でないと判断され、規制を継続することを申し合わせた。

また、市側から「川辺と鹿児島は重要な幹線道路なので調査を行って規制を早く解除してほしい」と要望があり、それに対して事務局は「時間はかかるが検討していきたい」と答えた。なお、今後とも斜面・渓流・構造物等の異常を早期に発見できるよう定期的点検やモニタリングを含めた管理を道路管理者が実施していくことを確認して閉会した。

一般国道225号（川辺地区）通行規制区間検討委員会
（第3回 委員会）

規制解除などの要望も出された検討委員会＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

グランステラ大崎 モデルルームお披露目会

定期借地権付で建設

トーシンリアルトラスト

トーシンリアルトラスト㈱（鎌田照男代表取締役、本社・鹿児島市）は9日、曽於郡大崎町の定期借地権付分譲マンション「グランステラ大崎」建設地で同マンションモデルルームお披露目会を開き、大崎町をはじめ県内外自治体ら約50人が出席して行われた。

お披露目会では、初めに鎌田社長が定期借地権など説明し[illegible]大隅町長が来賓挨拶に立ち、「長年あたためてきた事業が実現の運びとなったことは、同社をはじめとする関係者の努力の賜物と感謝いたします。若者の定住促進などを目的にしたこの住宅施策においては町としても初めてのケースで立派に成功したあかつきには関心を呼ぶのではないかと期待しております。今後も企業誘致をはじめ住宅施策などまちづくりについて積極的に取り組んでいきたい」と語った。

このあとは、質疑応答に入り、県内の自治体から「一戸建てではなくマンションにした経緯とは」、「ニーズ調査についてはどのような実施方法を行ったのか」など質問があがり、自治体の関心の高さがうかがえた。

同マンションは、大崎町神領字青木1718－2に敷地5646・71平方㍍にRC造5階建延べ[illegible]内部には7タイプとして3LDK17戸、4LDK13戸の計30戸が入る。なお、設計は田上建築都市設計工房が担当。

同社では、「このマンションは、定期借地権で自治体と民間が契約を結んで建設するのは九州では初となります。現在までに日置郡金峰町、日吉町と覚え書を結んでおり、この事業が完成次第、随時計画を進めていきたい」と今後の事業についても会見で話した。

マンション建設の経緯など説明が行われたお披露目会＝大崎町の現地で

国交省の統計調査で

乙津建設が大臣表彰

15年度国土交通省指定統計調査で、調査票の内容が正確かつ社会的責任を十分に把握している等として、乙津建設㈲（中村俊徳社長、大口市）が国土交通大臣表彰の栄誉を受け、9日、大口市の県大口土木事務所で伝達式が行なわれた。

伝達式には木場健三大口土木事務所長や東孝司同事務所技術次長、乙津忠義乙津建設㈲会長、中村社長が出席し、木場所長が乙津会長に表彰状を授与した。乙津会長は「突然の栄誉に驚いている。今後も微力ながら協力していきたい」と感謝の言葉を述べた。

今回表彰の対象となったのは「建設工事受注動態統計調査」。建設業関係では最も大規模なもので、全国の許可業者約57万社の中から1万2000業者を選び、年間完成工事高等を調査する。建設工事の月次の受注動向を把握できる非常に重要、かつ許可建設業全体を調査する唯一のもの。これにより構造分析や建設活動量の把握など細かな分析が可能となる。

伝達式の記念写真（左から木場所長、乙津会長、中村社長、東次長）＝大口市の同事務所で

桜島に火山観測杭設置

九地整 9月末の完成予定

国土交通省九州地方整備局はこのほど、桜島に新たな火山観測杭を設置することを発表した。同杭は15年10月に本間組と契約を終えており、16年9月末の完成を予定している。また、杭の設置により砂防工事に従事する関係者の安全や観測・監視情報の集約など、火山噴火や土石流のより精度の高いシステムへの展開を期待している。

市電西駅前停留場

あす、駅前広場に移設

鹿児島市交通局は、16年3月の九州新幹線開業に伴う西鹿児島駅東口広場整備事業により、現在、県道部に設置されている市電西鹿児島駅前停留場を、11日に駅前広場内に移設する。

[illegible]りが交差する[illegible]都通り側の南口交差点の2カ所で行う。11日午前6時までに工事を終了し、始発便から使用を開始する。

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

“真心とほほ笑みと„をモットーに心より御奉仕致します。
南日本家具工芸株式会社
婚礼家具，造作家具，増改築，ジュータン
カーテン，他，家具総合卸
鹿児島市東開町13—30
TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385